



2019年9月11日

日本鉄道労働組合連合会

九州地方協議会「第28回定期委員会」開催

# 九州の地でJR連合運動のさらなる前進を図り JR連合への総結集を実現することを確認！

JR連合九州地方協議会は、9月8日、JR九州労組会議室において、第28回定期委員会を開催した。

冒頭、挨拶に立った中原博徳議長より、安全確立の取り組み、組織強化・拡大の取り組み、政策課題解決の取り組み、及び労働条件向上の取り組みの4点に亘り所見の一端が述べられた。組織強化・拡大の取り組みについては、九州地区における民主化闘争を早期に完遂することを目指し、JR連合への総結集に向けて加盟各単組が一丸となって取り組む決意を表明した。政策課題については、8月に佐賀県を中心とする九州北部地方で発生した集中豪雨災害をはじめとして九州地区において自然災害が頻発している現状を踏まえ、鉄道をはじめとするインフラの強化に資する政策誘導の必要性を訴えた。

委員会には、交運共済九州事業本部より福田博州本部長、JR連合から尾形泰二郎事務局長が出席し、それぞれ激励と連帯の挨拶を行った。その後宮路亨事務局長より2018年度の活動経過及び2019年度の活動方針（案）が提起され、質疑を受けた後にすべての議案が満場一致で承認された。



役員改選では、引き続き中原博徳氏（JR九州労組選出）を議長とする新役員体制が確立。最後に中原議長の力強い団結ガンバローで締め括った。